

守口市における部活動改革の取組みについて

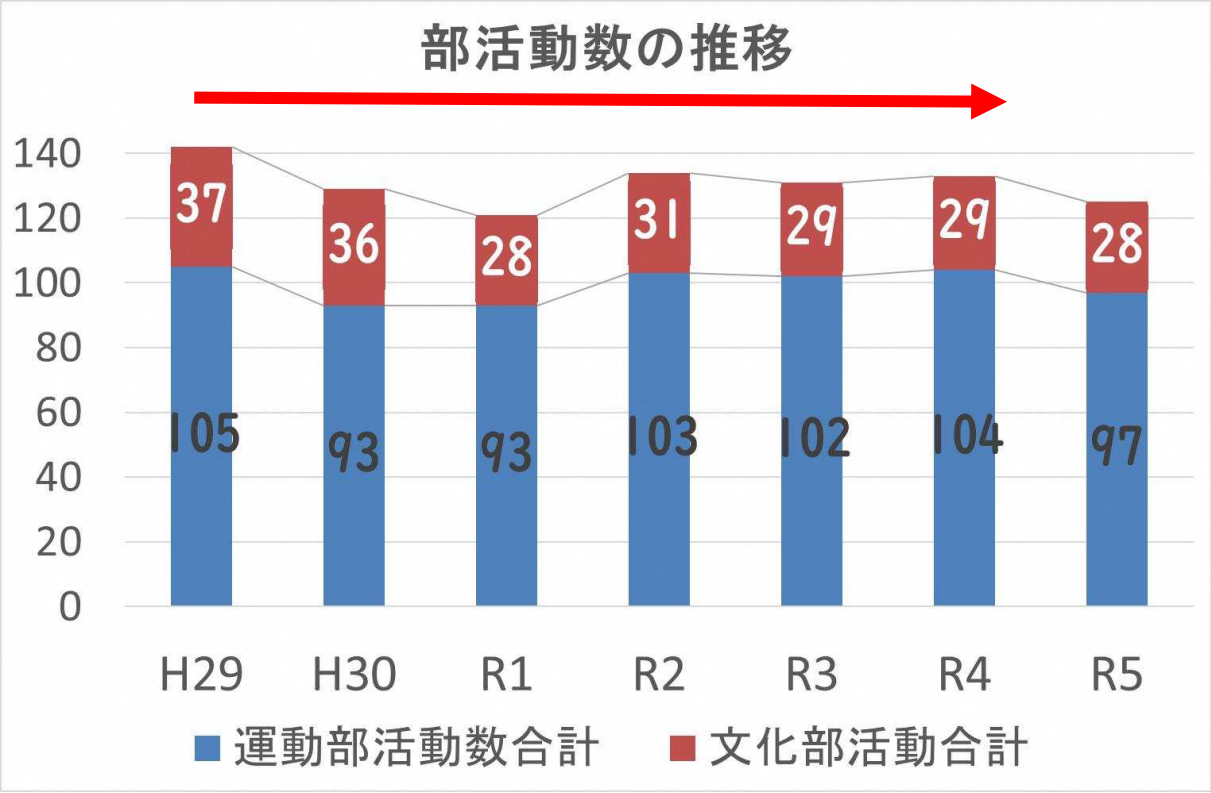
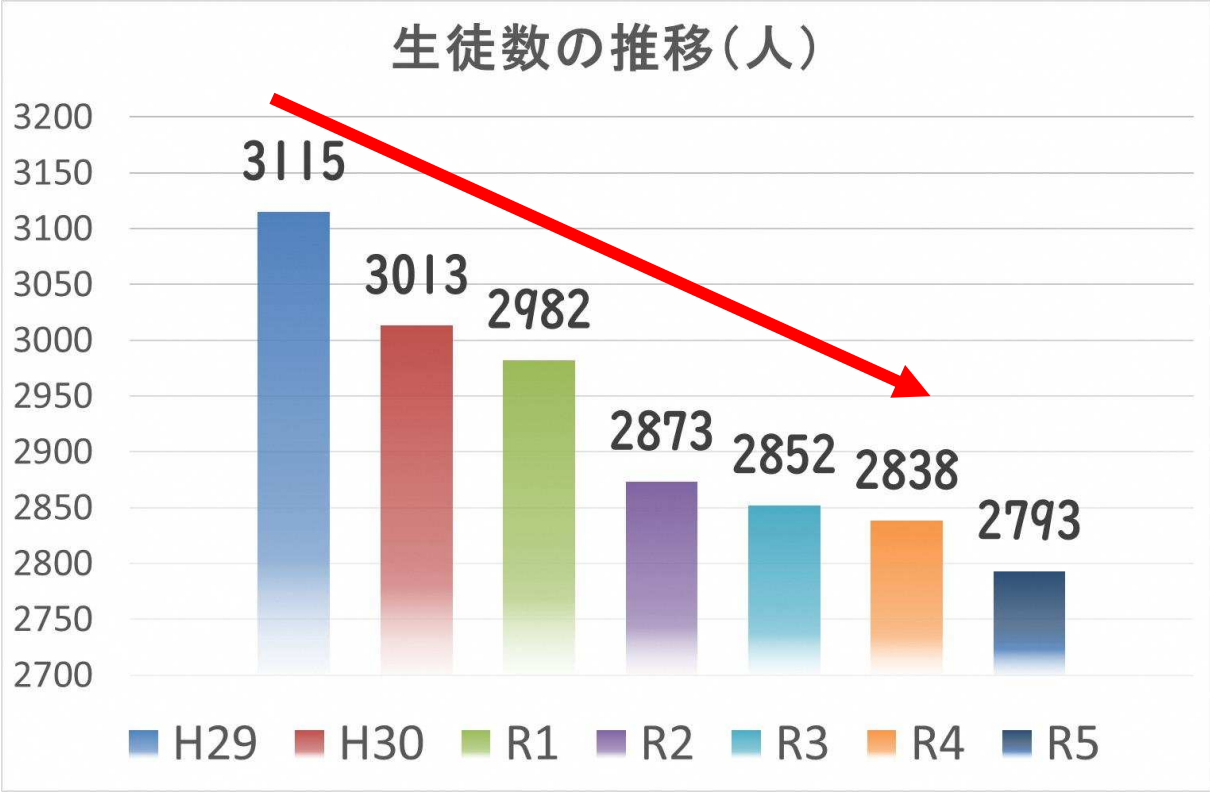
令和 6 年 1 0 月 3 日

守口市教育委員会

教育長 たなか 田中 まこと 実



(1)生徒数及び部活動数の推移



(課題) 部員数の確保・顧問の配置 長時間勤務の要因にも

→ 生徒の活動の充実・教員の部活動に係る負担軽減に向けた取り組みが必要



(2)部活動指導員の配置状況

令和 1 年度(H31)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
2校	8校	8校	8校	8校
バスケットボール ソフトボール	バスケットボール ソフトボール バドミントン ラグビー 卓球 ソフトテニス	バスケットボール ソフトボール バドミントン ラグビー 卓球 ソフトテニス 準硬式野球	バスケットボール バドミントン ラグビー 卓球 ソフトテニス 準硬式野球	バスケットボール バドミントン ラグビー 卓球 ソフトテニス 準硬式野球

(効果) 生徒への専門的な指導、顧問の負担軽減
ただし、上記の表以外にも配置を求める部活動あり



(3)地域運動部活動(民間事業者による部活動)推進事業の展開

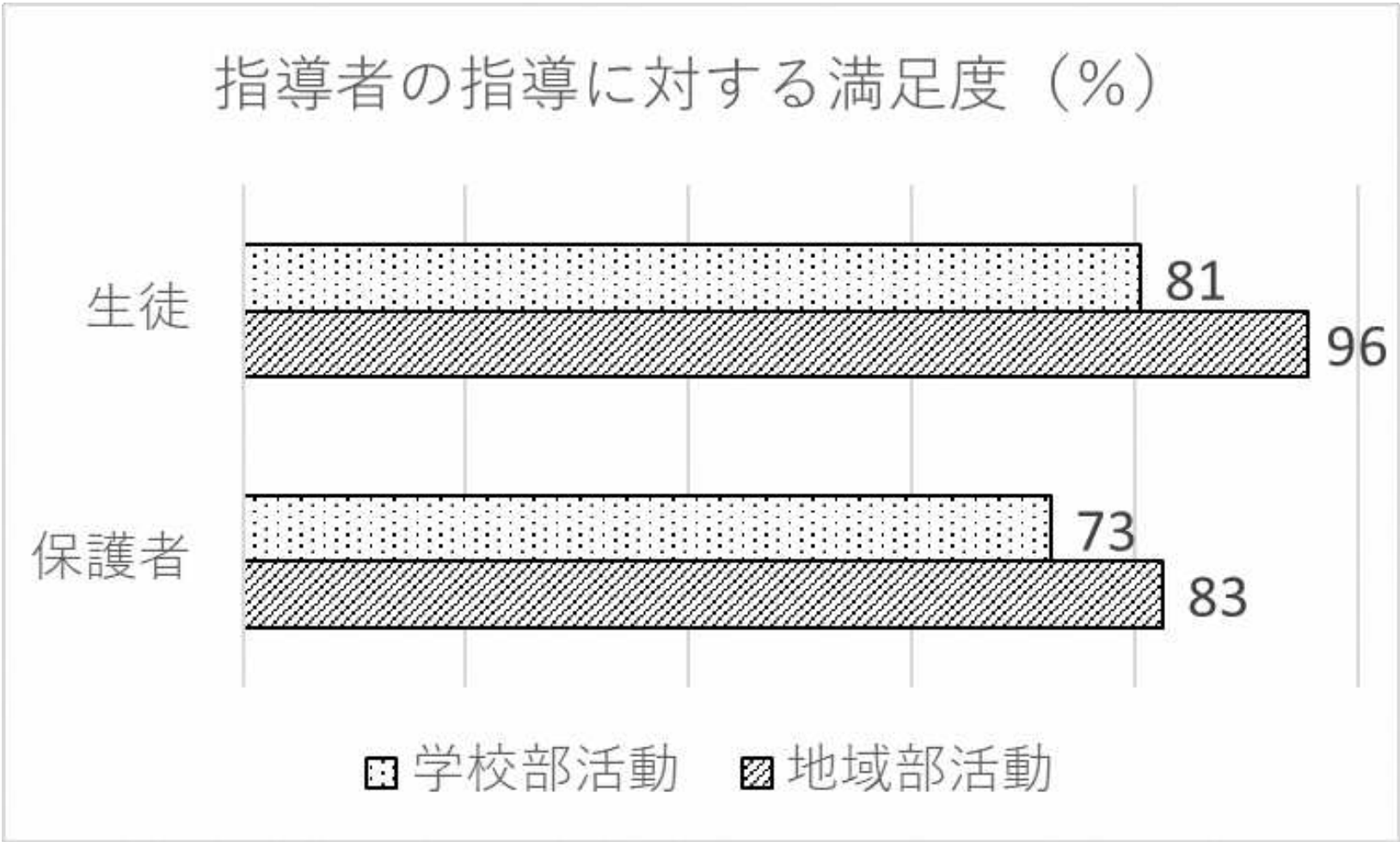
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
サッカー部	リトルFC			(2校)
女子バスケットボール部	コスモスポーツクラブ			(1校)
男子ソフトテニス部	コスモスポーツクラブ			(1校)
女子ソフトテニス部		コスモスポーツクラブ		(1校)
卓球部		市卓球協会（部活動指導員としても活動）		(3校)

市部活動検討委員会設置



(4)地域運動部活動推進事業の成果

① 指導について生徒や保護者の満足度は、部活動よりも高い (R5年度調査)



指導について「とても満足している」、「満足している」と回答した割合

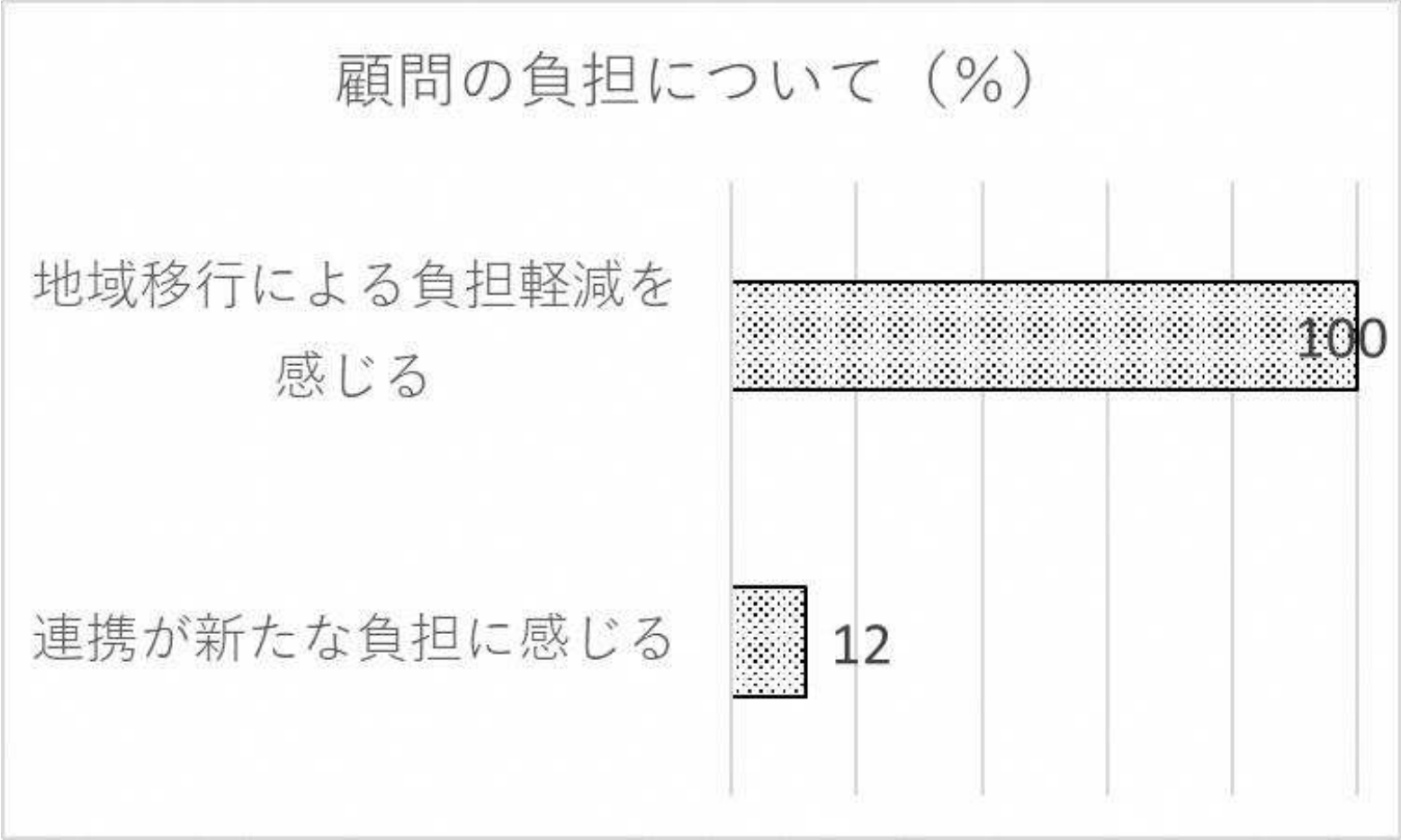
(回答数) 生徒...67名
保護者...51名



(4)地域運動部活動推進事業の成果

② 地域運動部活動は、顧問の負担軽減となっている

(R5年度調査)



(回答数) 教員... 8 名



(4) 地域運動部活動推進事業の成果

③ 運営団体との連携が進んだ



コスモスポーツクラブの指導員を講師として、教職員の体育実技研修を実施(R5)



市卓球協会がプロ卓球チームを招へいし、児童生徒への練習会を開催(R5)

(5)地域運動部活動推進事業の課題

① 指導者の確保

報酬額がネックとなり、現状以上の指導者数の確保・拡充が困難

(これまでの事業者との交渉)

- ・会費徴収する場合の額について
(学校施設の優先利用、使用料の減免等)
- ・学校施設でのいわゆる教室開催による、会費の無料・低廉化
(小学生を対象とした体操教室の開催を試行)

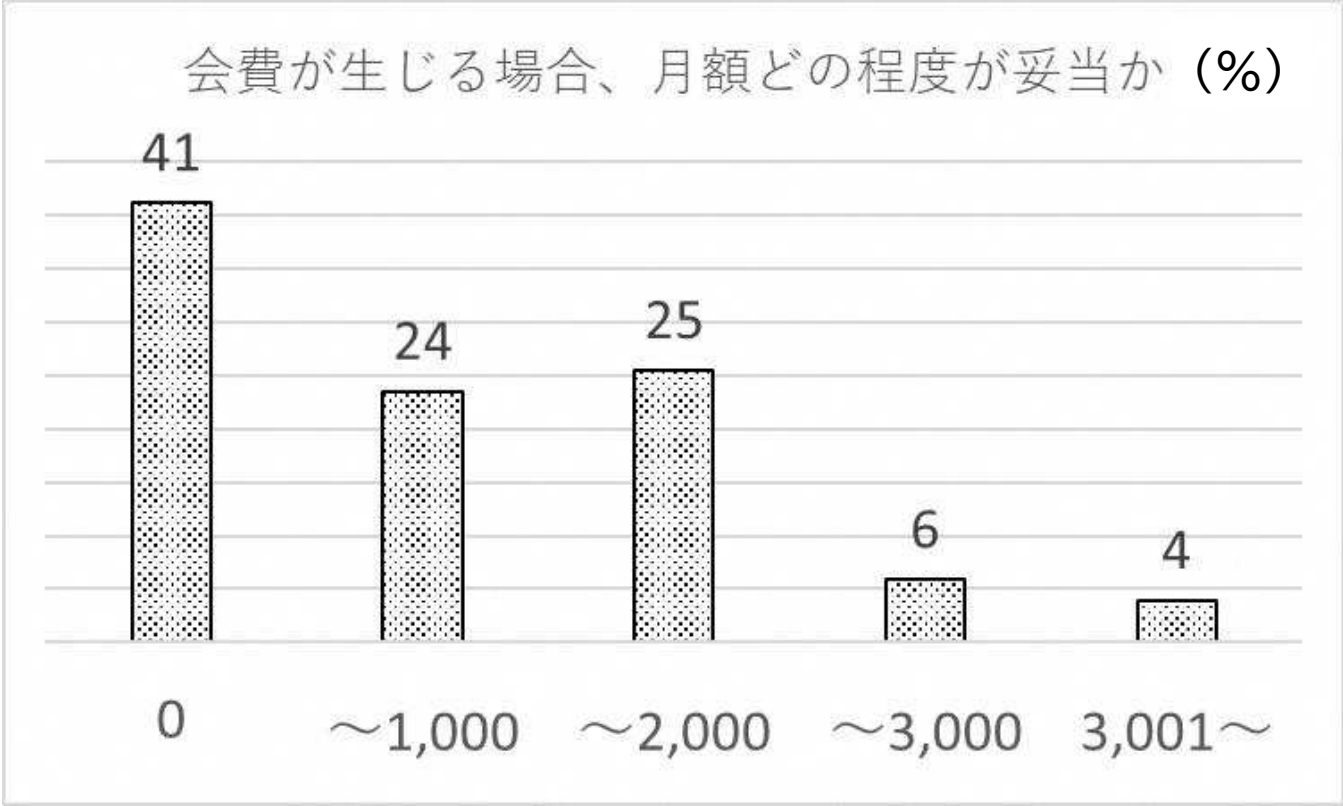
(今後について)

- ・会費徴収の検討
- ・会費の無料・低廉化に向けた、参加団体による学校施設の活用の検討
- ・民間・市民からの寄附による会費用の財源の検討



(5)地域運動部活動推進事業の課題

② 会費(月)は、保護者と事業者との考えに開き (R5年度調査)



(回答数) 保護者...51名

保護者の 9 割は2000円以内を妥当と考え、事業者の希望は5,000～6,500円
現在の額 (1,600円/H) では、今後の継続が難しいとの意見



(6)部活動の「標準活動時間」設定の背景

学校における部活動

- ・生徒の多様な学びの場として意義あり
- ・部活動を指導したいと思い教員になった者もいる

→ 部活動を完全に地域移行することは困難
一方で、部活動などによる教員の長時間勤務は深刻な状況

教員の心身の健康を守ることは、市教委・校長の最低限の責務
しかし、勤務時間を超える活動が常態化

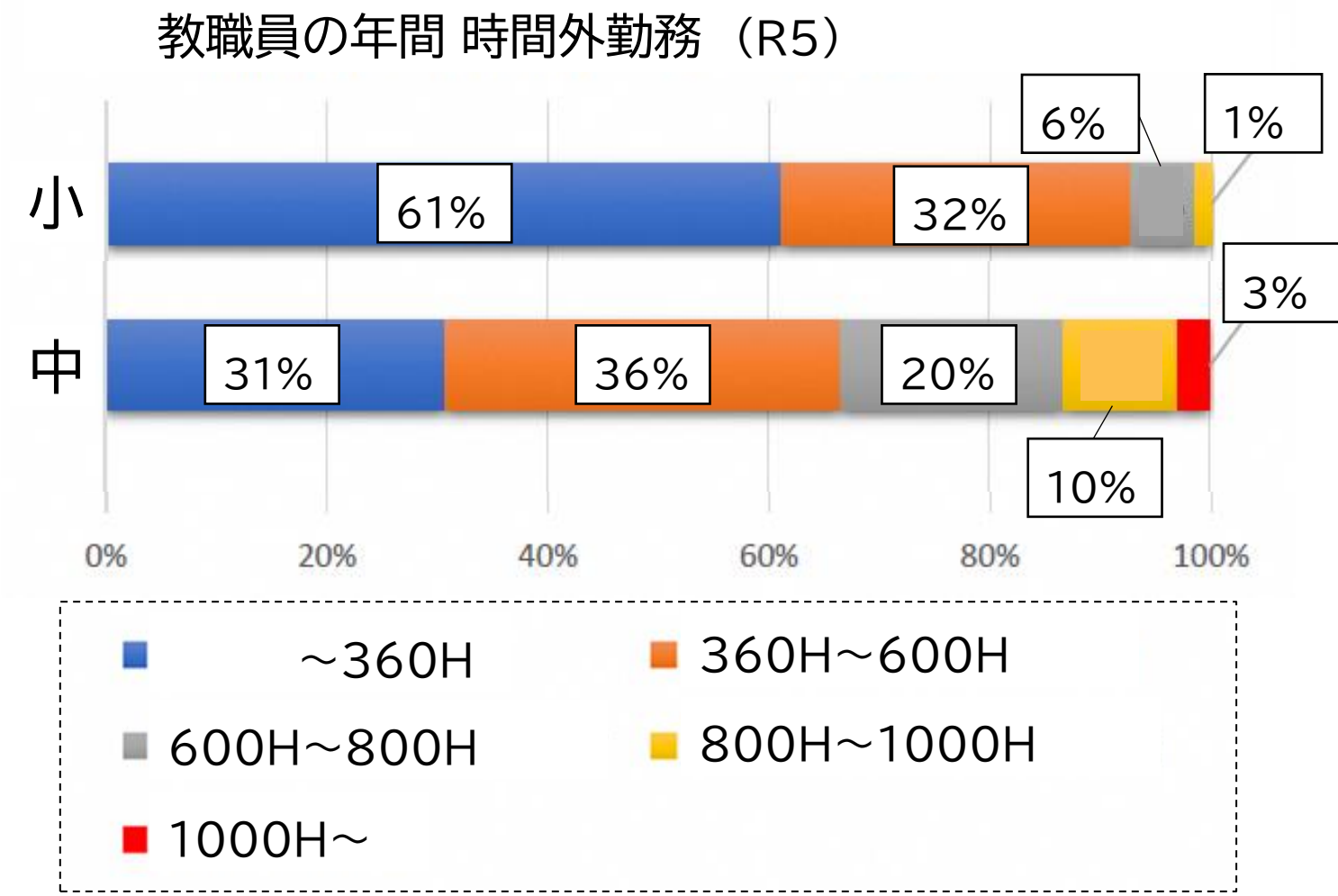


「勤務時間内」での活動を標準 = 「標準活動時間」をスタート(R6.4)

- ① ただし、大会を控えている場合などは、校長の許可があればガイドライン内で活動が可能
(ほかの方法)
- ② 任意団体として活動（生徒の参加は任意・教員の兼職兼業、団体設置を促進）
- ③ 地域のスポーツ・文化団体の活動に中学生が参加（部活動の減→地域を受皿に）



(6)部活動の「標準活動時間」設定の背景

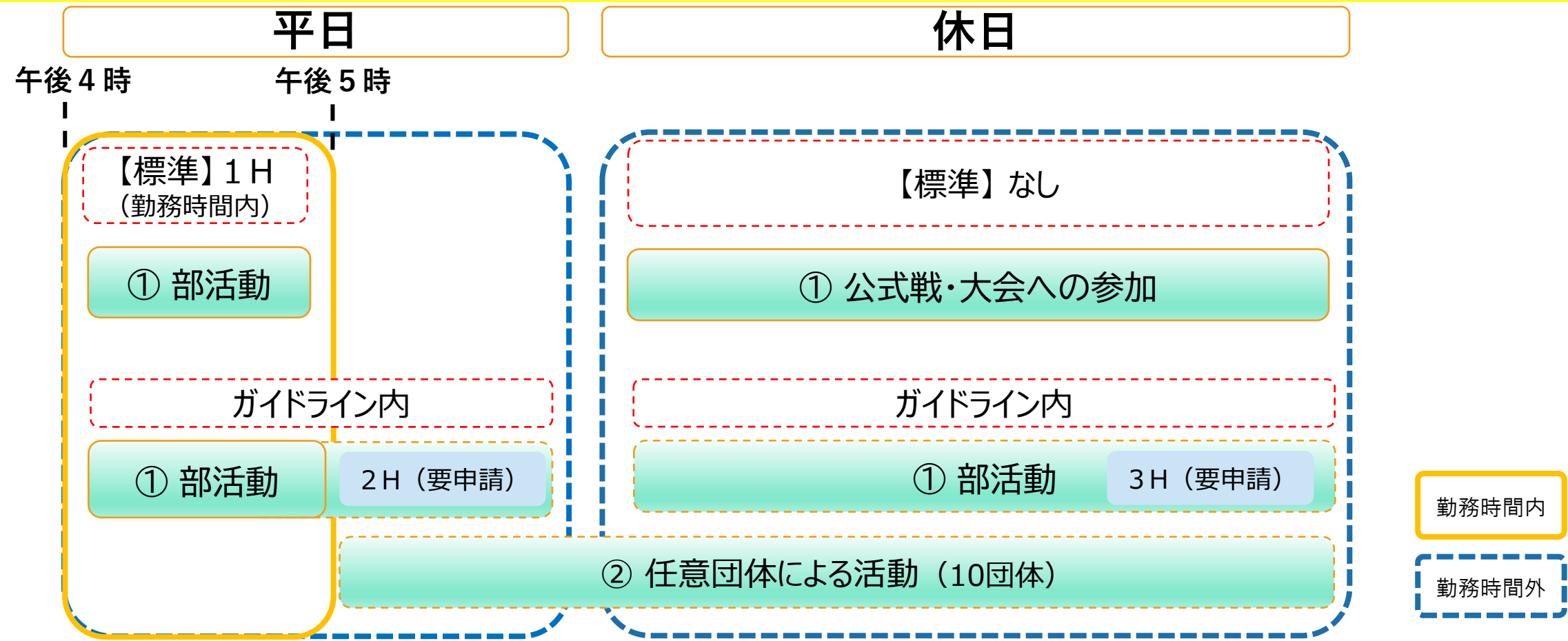


月平均 時間外勤務 (H)

R5	小学校	中学校
月平均	26:05	40:08

- 中学校は小学校と比べ、
- ・年360時間以内の割合が30ポイント低い
 - ・月平均では14時間多い

(7)部活動の「標準活動時間」による部活動等イメージ図



③地域のスポーツ・文化団体の活動に中学生が参加



(8)任意団体等による活動

② 任意団体による活動

- 6校・10団体が活動中
 - ・吹奏楽(3)、ソフトテニス、野球
バレーボール、バスケットボール(4)
 - ・指導者は、教員・保護者

(例)大久保中学校 吹奏楽部

- ・保護者を代表とする任意団体
- ・生徒が希望制で参加
- ・活動は平日の午後5時から約1時間

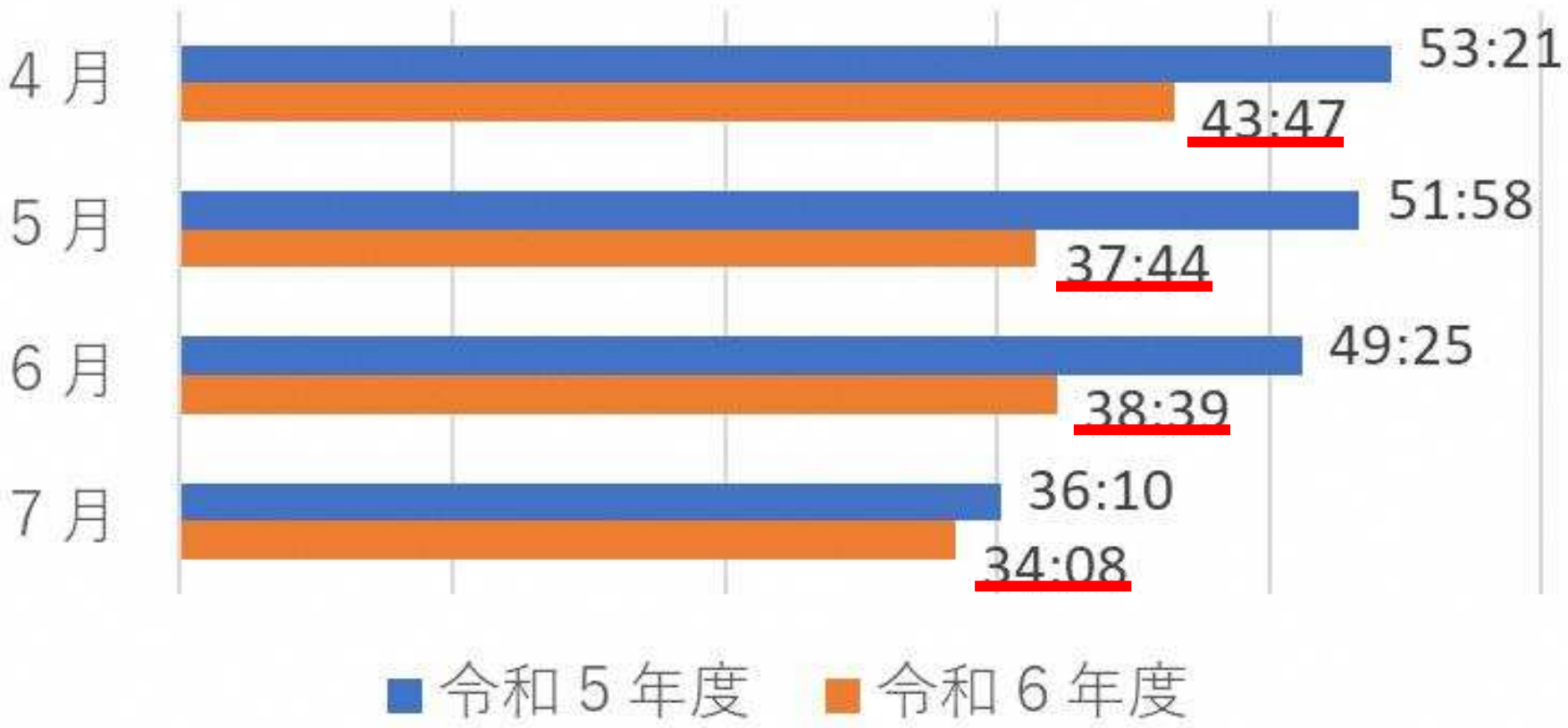
③ 地域のスポーツ・文化団体に中学生が参加

- 10団体が生徒の受け入れ表明
 - ・卓球、ソフトテニス、ソフトボール
少林寺拳法(2)、柔道(2)
バトントワリング、コーラス、津軽三味線
- 市教委から団体に対し、無料・低廉な会費
設定により、生徒の受け入れを依頼
(主な会費の額) 0円～3,000円(月)



(9)部活動の「標準活動時間」による成果

平均時間外勤務



時間外勤務が大幅に減少



(10)今後に向けた取組み

「標準活動時間」についての教員・生徒アンケート結果（複数回答）（R6.6）

（教員）「標準活動時間」による効果	専門	専門外	全体
部活動の負担が減り、以前よりも早く退勤できるようになった	24.4%	30.1%	28.3%
プライベートの時間が増えた	25.6%	20.5%	24.1%
授業準備に充てる時間が増えた	18.6%	26.0%	22.3%

（生徒）「標準活動時間」による効果	1 年	2 年	3 年	全体
部活動の負担が減り、これまでより早く家に帰れるようになった	36.4%	44.3%	47.6%	42.7%
友達と遊んだり、自分の好きなことをしたりする時間が増えた	40.8%	41.9%	42.6%	41.7%
気持ちにゆとりをもって生活を送ることができるようになった	23.6%	25.3%	30.9%	26.6%

→ 教員・生徒とも退勤・帰宅が早くなりプライベートが充実するなど効果を実感
専門外の教員は、授業準備に充てる時間が増えたことをより感じている



(11)今後の課題①

複数回答

(教員)「標準活動時間」による課題	専門	専門外	全体
部活動時間が短くなり、生徒の実力やスキルが低下した	75.6%	56.2%	64.5%
部活動時間が短くなり、思うような指導ができずストレスを感じる	38.4%	23.3%	30.7%

(生徒)「標準活動時間」による課題	1年	2年	3年	全体
練習時間が短くなり、自分の実力やスキルが低下した	31.3%	40.8%	47.0%	39.6%
活動時間が短くなり、思うような活動ができずストレスを感じる	18.8%	27.5%	32.3%	26.1%

→ 短時間で効果的な部活動の練習方法の好事例の発信等により、教員・生徒の支援が必要



(12)今後の課題②

複数回答

(教員)「標準活動時間」にかかわって今後、期待すること	専門	専門外	全体
学校の部活動以外に子どもたちが活動できる場を周知してほしい	36.0%	37.0%	37.3%
近隣の施設を活用できるよう環境を整えてほしい	44.2%	38.4%	41.0%

(生徒)「標準活動時間」にかかわって今後、期待すること	1年	2年	3年	全体
学校部活動以外で、部活動に関わる技術を高めたりできる場を教えてほしい	38.3%	39.2%	37.6%	38.4%
学校部活動にないスポーツ・文化活動を体験できる場の情報を教えてほしい	17.9%	16.0%	17.2%	17.0%

- 中学生も参加できる地域のスポーツ・文化団体について一層、周知が必要
(R6.5 中学生あて周知 / R6.9 小学校6年生あて周知)
- 高校・大学等近隣施設の活用協力について、一層の働きかけが必要



(13)まとめ

項目	今後の方向性など
地域運動部活動など	・会費の徴収を検討 → 持続可能な運営へ
	・受け皿となる地域のスポーツ・文化団体の中学生・保護者への周知、受け入れ団体の開拓
部活動	・短時間で効果的な部活動の好事例の発信や教員研修の開催 （できれば広域的な取組みを）

